

令和5年度

交通安全事業報告

一般財団法人 北海道交通安全協会

目 次

	頁
第1 交通安全思想の普及、向上及び交通安全活動の推進	
1 関係機関・団体等と連携した交通安全運動の展開	1
2 地域に根ざした交通安全活動の推進	1
第2 交通安全運動の重点に対する取組	
1 子供と高齢者の交通事故防止対策	5
2 飲酒運転根絶活動の推進	6
3 スピードダウン啓発活動の推進	7
4 シートベルト全席着用の促進	7
5 居眠り運転防止活動の推進	7
6 自転車利用者に対する各種活動の推進	7
7 安全意識向上の推進	8
第3 安全意識の高い運転者の養成	
1 自動車学園における運転者教育の推進	9
2 二輪免許保有者に対する安全運転技能講習等の実施	10
第4 交通安全に関する調査研究	
1 交通ミニ統計の作製・配布	10
2 交通事故防止に資する調査研究	10
第5 交通安全活動推進センター事業の積極的な推進	
1 交通事故防止関連書籍、資料の作製事業	10
2 交通規制等の広報事業	11
3 道路使用許可の調査事業	11
4 交通事故相談事業	11
第6 委託事業の適正な実施	
1 自動車保管場所調査業務及び同データ入力業務	11
2 更新時講習及び停止処分者等講習業務	11
3 運転免許証更新及び高齢者講習情報提供業務	12
4 地域交通安全活動推進委員講習等業務	12
5 道路使用許可調査業務	12
第7 交通安全功労者及び優良運転者等の表彰	

1	全日本交通安全協会会長等表彰	12
2	北海道警察本部長・北海道交通安全協会会長連名表彰及び会長表彰.....	13
第8 運転免許証関係申請者のための事業		
1	運転免許申請用写真の撮影	13
2	運転免許証の郵送	13
第9 地区交通安全協会への支援		
1	交通安全活動に対する支援	13
2	「統一会員証」及び「交通安全協会会員協力店掲載冊子」の作製・配布	13
3	地区交通安全協会への入会促進活動の強化	14
第10 交通安全活動団体への支援		
1	交通事故被害者の会への支援	14
2	北海道ハーレー警ら隊への支援	14
別表1 運転者会員数調べ（札幌方面）		
別表2 運転者会員数調べ（他方面）		

令和5年度交通安全事業報告

令和5年度の当協会の交通安全活動は、北海道、北海道警察、北海道教育委員会、札幌市、公益社団法人北海道交通安全推進委員会、一般財団法人北海道交通安全協会、一般社団法人北海道交通安全運転管理者協会で構成する「交通安全対策七者連絡会議」（以下「七者連絡会議」という。）をはじめ、関係機関・団体、各方面交通安全協会及び各地区交通安全協会等が一体となって、北海道が策定した「令和5年度における交通安全運動の推進方針」などに基づき、交通安全運動の活動重点を軸とした通年運動や4期40日の期別運動を展開したものであるが、道内における交通事故情勢は、死者数131人、発生件数9,082件、負傷者数10,595人とそれぞれ前年を上回る結果となった。

第1 交通安全思想の普及、向上及び交通安全活動の推進

1 関係機関・団体等と連携した交通安全運動の展開

七者連絡会議をはじめ、関係機関・団体等と緊密に連携し、交通安全運動の活動重点を軸とした通年運動や4期40日の期別運動等を展開した。

(1) 七者会議の開催

期別運動を始め、交通事故多発警報発表に伴う対策などを主要議題に10回開催し、推進方針等について意思統一を図った。

(2) 北海道が主催する各種会議の開催

- 北海道暴走族対策推進協議会（5/23：書面開催）
- 令和5年度北海道飲酒運転根絶推進協議会（11/21：かでの2.7）
- 令和6年度交通安全運動推進会議（R6/2/2：オンライン開催）

2 地域に根ざした交通安全活動の推進

(1) 交通安全運動に関する広報啓発活動

ア 期別運動

(ア) 春の全国交通安全運動 5/11(木)～5/20(土)

- 道民の集い（5/11：道庁赤れんが庁舎前庭）
- 交通安全フェアinさっぽろ（5/16：イオンモールさっぽろ発寒店）

(イ) 夏の交通安全運動 7/13(木)～7/22(土)

- セーフティコール（7/13：共済ビル前）

(ウ) 秋の全国交通安全運動 9/21(木)～9/30(土)

- 2023交通安全道民総決起大会（9/21：道庁赤れんが庁舎前庭）
- 交通安全集会・反射材寄贈式

(9/29：石狩南高校 北警察署合同)

- (エ) 冬の交通安全運動 11/13(月)～11/22日(水)
 - セーフティコール (11/13：道庁赤れんが庁舎前庭)
 - 交通安全の集い・道警音楽隊ウィンターコンサート
(11/10：札幌サンプラザコンサートホール
警察本部交通企画課、北警察署合同)

イ 交通安全の日等の運動

- (ア) 新入学(園)期の交通安全期間
 - 通学路における児童への交通安全指導
(4/6～4/14：当協会前交差点)
- (イ) 飲酒運転根絶の日
 - 「飲酒運転根絶の日」決起大会 (7/13：共済ホール)
- (ウ) 道民交通安全の日(毎月15日)
 - 当協会職員による交通安全街頭啓発(札幌信金北支店前交差点)
- (エ) 自転車安全日
 - サイクルセーフティキャンペーン開始式
(4/21：札幌駅南口広場)
 - 自転車安全利用の街頭啓発
(6/2、6/16、7/7、7/21、8/4、8/18、9/8：
道庁東門及び北海道大学北側エルムトンネル前他)
- (オ) 交通事故死ゼロを目指す日
 - 交通安全街頭啓発
(5/19、9/29：札幌駅南口広場、アピア太陽の広場)

ウ その他の交通安全活動

- (ア) 交通死亡事故等多発に伴う緊急対策
 - 室蘭市の単独事故(1人死亡)、八雲町の正面衝突事故(5人死亡)により全道警報が発表(6/19～6/25)され、緊急対策として、七者による合同街頭啓発や当協会ホームページ、STVラジオ「吉川のりおスーパーLIVE」で交通事故防止を呼びかけたほか、同対策を支援するため、居眠り防止用ウエットティッシュの作製を計画し、8月、関係機関等に配布した。
 - 芦別市の二輪車による単独事故(1人死亡)、大樹町の正面衝突事故(4人死亡)、中富良野町の二輪車による単独事故(1人死亡)により全道警報が発表(7/25～7/31)され、緊急対策として、七者による合同街頭啓発や当協会ホームページでの交通事故防止を呼びかけたほか、二輪車の交通事故防止対策を支

援するため、啓発用バイク小旗の作製を計画し、9月、関係機関に配布した。

(イ) 飲酒運転根絶に係る啓発活動

- 飲酒運転はチョコっとも許さない！飲酒運転根絶大作戦！

(12/4：イトーヨーカドー琴似店)

エ テレビ放送による広報

道民に対する効果的な交通安全広報を目的に、STVテレビのCMを活用した広報を展開した。

(ア) CMによる通年の広報

4月～3月までの1年間……15秒 104回

(イ) 各期交通安全運動期間中の広報

- フリースポット放送

各期交通安全運動10日間……15秒 各期10回 合計40回

- 「街角30秒勝負」への生出演による広報

各期交通安全運動期間中……30秒 各期1回 合計4回

オ ラジオ放送による広報

交通事故の防止を図るため、ラジオ放送を活用した交通安全広報を展開した。

(ア) STVラジオによる通年の広報

- 当協会提供コーナーによる広報 (52回)

毎週金曜日、午後4時35分から5分間、4月から「吉川のりおスーパーLIVE」、10月から「まるごと！エンタメーション！」の当協会提供コーナーにおいて、交通事故防止に関する各種情報やアナウンサーによる「癒やされぬ輪禍Forever (永遠に)」の朗読など、交通事故の発生状況に応じた情報を発信した。

- 交通安全CMによる広報 (52回)

20秒CM「セーフティ北海道」で、季節や交通事故の発生傾向に応じた交通事故防止のポイント（安全な速度編、シートベルト着用編、夕暮れ早まる編、飛び出し注意編、飲酒運転根絶編、雪道編等）を発信した。

(イ) 期別交通安全運動期間中の広報

AMラジオ局（STV、HBC）に加え、新たにFMラジオ局（Air-G）において、スポット放送（当協会CMソングを使用したオリジナルキャンペーンスポット）により交通事故防止を呼びかけた。

- 春の全国交通安全運動期間中… 5/11～5/20 20秒

- S T V : 67回、Air-G : 30回
- 夏の交通安全運動期間中…………… 7/13 ~ 7/22 20秒
 - H B C : 50回、Air-G : 30回
- 秋の全国交通安全運動期間中… 9/21 ~ 9/30 20秒
 - S T V : 67回、Air-G : 30回
- 冬の交通安全運動期間中……………11/13 ~ 11/22 20秒
 - H B C : 50回、Air-G : 30回

(ウ) ラジオ中継車等による広報

S T Vラジオ「ランラン号」、H B Cラジオ「トピッカー」に加え、新たにAir-Gの生中継で、交通事故の防止を呼びかけた。

- Air-G中継…………… 5/10 春の全国交通安全運動
- S T Vラジオ「ランラン号」中継…………… 5/11 春の全国交通安全運動
- H B Cラジオ「トピッカー」中継… 7/14 夏の交通安全運動
- Air-G中継…………… 9/20 秋の全国交通安全運動
- S T Vラジオ「ランラン号」中継…………… 9/21 秋の全国交通安全運動
- H B Cラジオ「トピッカー」中継…11/15 冬の交通安全運動

カ デジタルサイネージ（電子看板）を活用した広報

- 北海道庁本庁舎 1階玄関ホールの柱壁面（南側）
 - …年間来庁者数約60万人
- 北大病院内の3カ所5面
 - …年間来庁者数約6万人

キ YuoTube公式チャンネルによる情報発信

当協会YuoTubeチャンネルのコンテンツ（交通安全啓発映像）を充実させ、継続した情報発信を展開した。

ク LINEを活用した情報発信

自動二輪車利用者向けの公式LINEアカウント「セーフティライディングby交通安全協会」を開設し、二輪車の交通事故防止に関するタイムリーな情報発信を展開した。

ケ 交通安全資料等の作製・配布

交通安全活動を効果的に推進するため、交通安全資料等を次表のとおり作製・配布した。

機関紙「交通北海道」	88,000 部
各種反射材（無事故チャレンジ用参加証）	22,000 個
日ハム選手を起用した交通安全啓発用ポスター	12,000 枚
日ハム選手を起用した飲酒運転根絶啓発用ポスター	10,000 枚
日ハム選手を起用した飲酒運転根絶啓発用うちわ	100,000 本
自動二輪免許新規取得者への配布用バイク小旗	5,000 本

二輪車事故多発に伴う啓発用バイク小旗	1,500 本
居眠り防止用メンソール配合ウエットティッシュ	10,000 個
運転免許証自主返納者への返礼品(リフレクター)	15,000 個
交通安全啓発用「交通安全ブラックブラックガム」	6,000 枚
交通安全啓発用ティッシュ	17,700 個
交通ミニ統計	2,500 部
令和6年交通安全啓発用カレンダー	800 組
各種交通安全啓発チラシ	17,700 枚

(2) 癒やされぬ輪禍改訂版の発行による広報活動

15編の手記を掲載した「癒やされぬ輪禍Forever（永遠に）」を作製し、発行に伴う朗読会の開催、S T Vラジオアナウンサーによる提供コーナーでの朗読に加え、交通安全講話等でも積極的に活用し、交通事故に潜む真の悲惨さを訴えた。

(3) 企業等が実施する交通安全活動への支援

(ア) 交通安全講話の実施

新型コロナウイルスの「5類」引き下げを契機に、依頼のあった当協会賛助会員企業4社（延べ280人）に対して交通安全講話を実施した。

(イ) 企業等が行う交通安全活動の後援

- 第21回バイクにフレンドシップinさっぽろ
(7/2 札幌地区二輪車普及安全協会)
- H B Cラジオ交通安全キャンペーン
(9/23~12/12 北海道放送)
- 令和5年度 J A共済全道小・中学校交通安全ポスターコンクール
(4/17 J A共済連北海道)
- 冬期違法駐車撲滅キャンペーン2024 (R6/1/1~3/31
読売新聞北海道支社、(株)読売エージェンシー北海道支社)
- 北海道モーターサイクルショウ2024
(R6/3/9、10 北海道二輪車商業協同組合)

(ウ) 啓発用資材の貸出状況

・タスキ…延べ60本 ・手旗…延べ110本 ・のぼり旗…延べ80本

(エ) 啓発用DVDの貸出状況

・保有数…110種類203本 ・貸出数…116回延べ252本

(オ) 教育資機材の貸出状況

・自転車シミュレータ…31回 ・クイックアーム…21回
・クイックキャッチ…13回 ・クイックステップ…15回

・酒酔い体験ゴーグル…29回

(4) 「チャレンジ・セーフティラリー北海道」の実施

7月1日から10月31日までの4カ月間、当協会、北海道交通安全推進委員会、北海道安全運転管理者協会、自動車安全運転センター北海道事務所及び同センター各方面事務所が主催する無事故・無違反運転を競う自主参加型交通安全活動「チャレンジ・セーフティラリー北海道2023」を実施した。期間中の無事故・無違反の達成率は、98.3%で前年を0.1%上回る過去最高の好成績となった

【参加者達成状況】

区分	達成者	未達成者
参加人数	140,168	2,419
構成率(%)	98.3	1.7

参加者142,587人(前年比-2,474人)

【未達成者内訳】

区分	交通事故(件数)			交通違反	
	死亡	重傷	軽傷	件数	人員
令和5年度	0	2	79	2,384	2,338
前年比	±0	-1	±0	-132	-140

第2 交通安全運動の重点に対する取組

1 子供と高齢者の交通事故防止対策

(1) 子供の交通事故防止対策

ア 交通安全教本を活用した交通安全教育の推進

道内における小学生被害の交通事故の約7割を低学年が占めていることから、JA共済連と連携し、授業などでの教育用資材として、小学生低学年向け交通安全教本を作製し、教育委員会を通じて道内の全小学校967校に125,000冊を配布した。

イ 地域社会貢献活動の推進

新入学児童を対象に交通安全啓発グッズ（反射材、交通安全塗り絵、色鉛筆、交通安全チラシ）の寄贈や、通学路周辺交差点での安全指導を実施した。

ウ 自転車用ヘルメット贈呈事業への支援

道警察及び交通関係団体と連携し、ヘルメットの着用率を向上させ被害軽減等を目指すことを目的に、「自転車ヘルメット着用モデル校」に指定した札幌市内4校の1年生310名にヘルメットを寄贈した。

エ 参加・体験型交通安全活動への支援

幼稚園や小学校で行う交通安全教室の実施に伴い、自転車シュミレーターや交通信号機セットの貸し出しにより、参加・体験型交通安全活動への支援を行った。

(2) 高齢者の交通事故防止対策

ア 高齢者交通事故防止 2 大対策

高齢者が当事者となる交通事故が増加傾向となっている現状から、高齢運転者及び高齢歩行者を対象とした、高齢者交通事故防止 2 大対策を重点的に展開した。

(ア) 高齢ドライバー無事故チャレンジの実施

7月1日から10月31日までの4カ月間、高齢運転者の交通安全意識の高揚と交通事故防止を目的に、70歳以上の高齢運転者を対象とした「高齢ドライバー無事故チャレンジ2023」を、北海道警察、各方面及び各地区交通安全協会と合同で実施し、参加者8,156人の中から抽選で、無事故達成者200人に「無事故チャレンジ賞（千円分の商品券）」を贈呈した。

(イ) 光って安全！高齢歩行者無事故チャレンジの実施

9月1日から12月31日までの4カ月間、高齢歩行者の交通事故被害防止と反射材の普及・活用の促進を図るため、65歳以上の高齢歩行者を対象とした「光って安全！高齢歩行者無事故チャレンジ2023」を、北海道警察、各方面及び各地区交通安全協会、北海道地域交通安全推進委員連絡協議会と合同で実施し、参加者8,140人の中から抽選で、無事故達成者200人に「無事故チャレンジ賞（千円分の商品券）」を贈呈した。

イ 運転免許自主返納者に対するミニ感謝状贈呈事業の推進

運転免許証を自主返納した65歳以上の高齢者に対して、これまでの交通安全を労うとともに、歩行中の交通事故防止に資するための返礼品（ミニ感謝状と夜光反射材のセット）を全道の運転免許試験場及び警察署へ配布した。

2 飲酒運転根絶活動の推進

(1) 広報啓発活動

ポスター等を作製・配布し飲酒運転根絶を呼びかけた。

- 日ハム選手を起用した飲酒運転根絶ポスター…………… 10,000枚
- 日ハム選手を起用した飲酒運転根絶啓発用うちわ…100,000本
- 新たに、飲酒運転で家族を失った交通事故被害者遺族等交通事故関係者の手記集「癒やされぬ輪禍Forever（永遠に）」を発行した。

(2) 体験型の飲酒事故防止

飲酒運転体験ゴーグルや飲酒運転根絶DVDを貸出し、飲酒運転の

危険性の認識向上を図った。

- 酒酔い体験ゴーグルによる疑似体験の支援…ゴーグル貸出回数29回

3 スピードダウン啓発活動の推進

高速走行がもたらす被害の重大性などについて、テレビ、ラジオ、ホームページ等の各種広報媒体を通じた広報啓発活動を実施した。

4 シートベルト全席着用の促進

関係機関・団体と連携し、街頭啓発等を通じて全席シートベルト着用の向上を図った。

5 居眠り運転防止活動の推進

- (1) 交通死亡事故多発警報に伴う緊急対策への支援

八雲町の国道で発生した、死者5人を伴う大型バスとトラックの正面衝突事故を受け、居眠り運転防止対策の一環として、北海道トラック交通共済協同組合及び北海道警察と連携して「メンソール入りウエットティッシュ」1万個を作製・配布した。

- (2) 継続した居眠り運転防止対策

居眠り防止「交通安全ブラックガム」などの啓発品の配布と、当協会北海道交通安全活動推進センター発行の「セーフティドライブマップ北海道」に、居眠り運転事故を起こしそうになった（起こした）地点や休憩場所（道の駅、コンビニエンスストア）を表記して周知するなど、継続的な居眠り運転防止活動を推進した。

6 自転車利用者に対する各種活動の推進

- (1) 自転車安全利用の周知・徹底

ア 自転車教育資料の配付

自転車教室に活用するための教育資料「自転車安全教室」11,100冊を配付した。

イ 自転車安全教室の開催

各地区交通安全協会と北海道警察等が連携のもと学校等において自転車安全教室を開催し、交通ルールの周知とヘルメットの着用促進を図った。

区分	札幌方面	函館方面	旭川方面	釧路方面	北見方面	合計
回数	868	120	239	178	116	1,521
人員	79,135	7,921	20,589	17,373	8,543	133,561

- (2) 自転車安全教育指導員等に対する講習会の実施

6月25日、士別市民文化センターにおいて、既に認定を受けている

自転車安全教育指導員の再教育と新たな指導員育成を目的とした自転車安全教育指導員講習会を開催した。士別市及びその近郊から6名が受講し、自転車安全教育指導員制度や自転車の乗車ルール、点検整備に関する実技指導を行った。

(3) 交通安全子供自転車北海道大会の実施

7月16日、農試公園ツインキャップにおいて、「第58回交通安全子供自転車北海道大会」を4年振りに実施した（令和2、3年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和4年は参加チームを確保できず中止）。同大会には、滝上小学校から1チーム、江別いずみ野小学校から4チームが出場し、団体戦では滝上小学校チームが見事優勝した。

なお、滝上小学校チームは、8月9日、東京ビッグサイトで開催された「第55回交通安全こども自転車全国大会」に出場し、団体総合32位の成績であった。

(4) 自転車損害賠償保険等への加入促進

ア 自転車安全整備制度「TSマーク」

安全に整備された自転車の利用促進を図るため、自転車安全整備制度をホームページや機関紙「交通北海道」で紹介し、TSマークの普及を図るとともに、新たに導入された緑色TSマークの取り扱いを開始した。

○ 赤色TSマーク交付数…1,804枚（前年比 -116枚）

○ 緑色TSマーク交付数……270枚

イ 自転車保険「サイクル安心保険」

全日本交通安全協会が募集しているサイクル安心保険の普及・加入の促進を図った。

○ 加入件数…2,483件（前年比 -84件）

7 安全意識向上の推進

(1) オリジナル反射材の販売

令和4年に実施した「反射材デザインコンクール2022」で最優秀賞となった作品を、当協会オリジナルの反射材「もっちりシマエナガ」として製品化し、各種啓発活動における活用と販売を開始した。

(2) 反射材の普及促進

ア オリジナル反射材の販路拡大

これまで、当協会のほか手稲、中央、厚別の各サービスコーナー、自動車学園等で販売していたが、新たに道内10カ所（新日本海フェリー(株)小樽支店、カフェ&ダイニング樹林、(株)じょうてつ新千歳空

港店、(有)やじま武道具店、厚友会旭山動物園中央店、厚友会旭川空港ポイント7、たきのうえホテル溪谷、オホーツク・ガリンコタワー(株)、(株)オホーツク村道の駅オホーツク紋別、道東観光開発(株)流氷街道網走)で販売を開始し、観光客を含めた多くの人たちへの普及促進を展開している。

イ 広報媒体や販売を通じた活動

テレビ、ラジオ、ホームページ等の広報媒体を活用し、夜間等における歩行者の交通事故防止対策に有効な反射材の着用促進に向けた広報啓発活動を展開したほか、地下歩行空間や旭川市で開催された「ホースショー」「旭川雪まつり2024」での販売会、各種スポーツ団体の協力を得て大会会場での販売等を実施するなど反射材の普及促進活動を強化した。

第3 安全意識の高い運転者の養成

1 自動車学園における運転者教育の推進

(1) 安全意識の高い運転者の育成

教習システムの一部見直しや、オンライン学科教習を導入するとともに、教習生に対して、個々人の運転適性に応じたきめ細かな教習や、安全な運転行動につながる運転者教習を総合的かつ体系的に行った。

【取得免許別入校者の状況】

区 分	普通	普二	準型	中型	大一	大二	大特	け引	二輪	合 計
令和5年度	538	58	7	80	119	100	165	50	124	1,241
前年比	+66	+12	-4	+33	-16	+22	+13	-26	-46	+54

(2) 卒業生に対する継続指導の実施

交通安全運動の実施時期等にあわせて、LINE公式アカウントを通じた指導を継続的に行い、交通事故防止を呼びかけた。

○ LINEによる継続指導… 6,535回（前年比+5,374回）

(3) 高齢運転者教育の推進

高齢者講習専門の施設である「交通安全教育センター」において高齢者講習等を積極的に実施した。

【高齢者講習の実施状況】

区 分	70～74歳	75歳以上	合 計
令和5年度	1,157	2,897	4,054
前年比	-52	+369	+317

【運転技能検査実施状況（75歳以上で一定の違反歴がある者に行う講習）】

区 分	回 数	受講者数
令和5年度	81	138
前 年 比	+9	+57

2 二輪免許保有者に対する安全運転技能講習等の実施

(1) 二輪車安全運転講習会の実施

4月から9月までの間、札幌運転免許試験場において5回（8/20：荒天で中止）、帯広運転免許試験場で1回、二輪車安全運転講習会を実施し、延べ304人が受講した。

(2) 二輪車安全運転北海道大会の実施

8月27日、札幌運転免許試験場において「第56回二輪車安全運転北海道大会」を実施した。

出場した30名の選手は、二輪車安全運転講習会で習得した安全運転技能の更なる向上と交通安全意識の高揚を図った。

(3) 二輪車による交通事故防止対策の推進

自動二輪車による交通事故を防止するため昨年に引き続き、北海道警察と連携し、道内の各運転免許試験場において、自動二輪免許新規取得者の免許証交付時に、交通安全三角旗（5,000本）を配布し安全運転を呼びかけたほか、7月下旬以降からの二輪車による重大交通事故の多発により、緊急に北海道警察が行う二輪車事故防止対策の支援のため啓発用バイク小旗1,500本を追加作製し配布した。

第4 交通安全に関する調査研究

1 交通ミニ統計の作製・配布

北海道警察と連携して、道内の交通事故発生状況等の交通情報を活用し、交通ミニ統計2,500部を作製して、各地区交通安全協会及び関係機関・団体等に配布した。

2 交通事故防止に資する調査研究

北海道警察と共同で、冬道の交通事故映像を制作し、日本語のほか外国人向けとして3カ国語版（英語、韓国語、中国語）を、当協会のYouTubeチャンネルで放映しているほか、レンタカー協会にも映像を提供し、レンタカーを利用する外国人がQRコードで視聴できるよう新たな取組を開始した。

第5 交通安全活動推進センター事業の積極的な推進

道路交通法第108条の31第1項により、公安委員会の指定を受けた機関として、同条第2項に掲げる事業等を積極的に実施した。

1 交通事故防止関連書籍、資料の作製事業

- セーフティドライブマップ…

北海道版：販売数37,669冊、札幌版：販売数1,393冊

- 癒やされぬ輪禍パートⅢ… 販売数1,053冊

- 癒やされぬ輪禍Forever（永遠に）… 販売数30,357冊（5/9～3/31）

- 交通を科学する… 販売数2,101冊

等の小冊子を作製販売した。

2 交通規制等の広報事業

主催者等から、交通規制を伴うマラソン、大規模なイベントや道路工事に伴う交通規制図の作製・頒布の広報業務について委託を受け適切に実施するとともに、規制図裏面を有効活用し、交通事故防止の啓発活動を行った。

なお、主な事業は下記のとおりである。

- 交通規制を伴うマラソン

北海道マラソン、札幌マラソン、小樽運河ロードレース、
函館マラソンほか

- 大規模なイベント

YOSAKOIソーランまつり、おたる潮まつり、北海道神宮初詣、
さっぽろ雪まつりほか

- 道路工事に伴う交通規制

札幌市内水道幹線工事

3 道路使用許可の調査事業

札幌市内及び旭川市内警察署管内の道路使用許可に関し、許可場所の道路又は交通状況の実態調査事業を適正に実施した。

4 交通事故相談事業

交通事故当事者、交通事故被害者等の相談に的確に対応するため、相談員研修会に参加するなど、資質と知識の向上に努めた。

第6 委託事業の適正な実施

1 自動車保管場所調査業務及び同データ入力業務

道内の自動車の保管場所申請に伴う現地調査・データ入力を適正に実施した。

【調査・入力実施状況】

区 分	調 査 件 数	データ入力件数
令和5年度	380,124	331,546
前 年 比	+10,764	+8,010

2 更新時講習及び停止処分者等講習業務

(1) 札幌方面の免許更新申請者及び停止処分者等に対する講習を適正に実施した。

区分	違 反		初 回		一 般		優 良		特 定		合 計	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
令和5年度	1,838	30,061	936	29,529	2,261	53,187	4,387	188,509	3	34	9,425	301,320
前年比	-87	-7,483	-3	+2,264	+7	-10,725	-271	-20,759	±0	-22	-354	-36,725

(2) オンライン講習の推移

北海道では、令和4年2月から優良オンライン講習、令和5年10月から一般オンライン講習が試行実施されており、令和7年4月からは全国で本格的に開始予定となっている。

令和5年度のオンライン講習の受講状況は次表のとおりである。

【優良オンライン講習 令和5年度分】

区 分	札幌方面	函館方面	旭川方面	釧路方面	北見方面	合 計
受講者数	231,488	24,438	40,218	43,167	15,712	355,027
内オンライン	42,979	2,948	6,634	5,602	2,343	60,506
割 合	18.6 %	12.1 %	16.5 %	13.0 %	14.9 %	17.0 %

【一般オンライン講習 令和5年10月～令和6年3月まで】

区 分	札幌方面	函館方面	旭川方面	釧路方面	北見方面	合 計
受講者数	27,715	4,022	5,388	6,217	2,439	45,781
内オンライン	4,131	405	679	620	274	6,109
割 合	14.9 %	10.1 %	12.6 %	10.0 %	11.2 %	13.3 %

3 運転免許証更新及び高齢者講習情報提供業務

道内の運転免許証更新予定者及び高齢者講習対象者に対する更新情報

提供業務を適正に実施した。

4 地域交通安全活動推進委員講習等業務

公安委員会から委嘱された、全道の地域交通安全活動推進委員に対する効果的な講習会を開催するとともに、活動に必要な資料を提供した。

なお、本事業は、令和5年度をもって終了となり、令和6年度からは北海道警察が直接実施することとなった。

5 道路使用許可調査業務

札幌市内及び旭川市内警察署管内における道路の工事状況について、調査を適正に実施した。

第7 交通安全功労者及び優良運転者等の表彰

1 全日本交通安全協会会長等表彰

交通事故抑止に貢献した交通安全功労者等を上申した結果、次表のとおり受賞した。

【交通栄誉賞（緑十字章）】

区 分	金 章	銀 章	銅 章	合 計
交通安全功労者数	4	12	24	40
優良運転者数	1	6	44	51
合 計	5	18	68	91

【交通安全優良団体等】

区 分	交通安全優良団体	交通安全優良学校	優良交通安全協会
受 賞 数	1 団体	0 校	3 協会

2 北海道警察本部長・北海道交通安全協会会長連名表彰及び会長表彰

交通安全運動の推進に貢献した交通安全功労者、団体及び優良運転者等を上申した結果、次表のとおり受賞した。

区 分	功 労 者		寄 付	運 転 者		連名表彰		合 計	
	個人	団 体		20年	30年	功労者	運転者	個 人	団 体
札幌方面	11	14	1	15	15	7	9	57	15
函館方面	6	2	0	11	12	0	7	36	2
旭川方面	0	4	0	2	1	3	9	15	4
釧路方面	0	4	0	5	6	2	1	14	4
北見方面	4	0	0	0	2	4	0	10	0
合 計	21	24	1	33	36	16	26	132	25

第8 運転免許証関係申請者のための事業

1 運転免許申請用写真の撮影

運転免許証の再交付申請・国外運転免許証申請者に対する利便性を図るため、写真撮影事業を実施した。

○ 撮影件数…15,253件（前年比 +1,545件）

2 運転免許証の郵送

優良運転者の運転免許証経由申請に伴う代理郵送を含め、交付される運転免許証を都合により受領できない申請者等からの依頼を受け、書留郵便での郵送事業を適正に実施した。

○ 郵送件数…1,799件（前年比 +159件）

第9 地区交通安全協会への支援

1 交通安全活動に対する支援

交通安全活動への現金による助成のほか交通安全啓発品や各種交通安全資料の提供を行った。

2 「統一会員証」及び「交通安全協会会員協力店掲載冊子」の作製・配布 経費削減等を目的とした全道統一の会員証等

○ 会員証…120,000枚

（「交通安全協会会員協力店」を一覧できるQRコード掲載）

○ 「交通安全協会会員協力店」冊子…90,000枚
を作製し、各方面、地区交通安全協会に配布した。

3 地区交通安全協会への入会促進活動の強化

入会促進の一環として導入した「交通安全協力店割引制度」を充実させるとともに、ホームページやセーフティドライブマップ、機関紙「交通北海道」に協力店を掲載して宣伝するなど、あらゆる機会を捉えて積極的な入会促進活動を推進した。

第10 交通安全活動団体への支援

1 交通事故被害者の会への支援

交通事故被害者の会の自主的な活動を支援するため、運営資金の助成、事務室の提供等を行った。

【交通事故被害者の会の活動状況】

会 員	総会	例会	会報発行	パネル展	講師派遣	フォーラム
117家族	1回	7回	年2回3,100部	6会場(32日)	73回	1回

2 北海道ハーレー警ら隊への支援

平成19年9月に結成した、交通事故防止等の社会貢献活動に寄与するボランティア団体で、パトロールや各種啓発活動を支援するための助成を行ったが、隊員の高齢化に伴い令和5年11月に解散した。

なお、これまでの労をねぎらうため、11月10日（金）、札幌サンプラザコンサートホールにおいて、北警察署等と合同の「解散式」を行った。